

石城時報

石城郡石城町平野町十四
印刷部 加納源次郎
編輯部 加納源次郎
發行部 加納源次郎
電話 二四一
代金 一月一元 三月三元 半年五元 一年十元
廣告費 一行一十元 一月一元 三月三元 半年五元 一年十元
印刷部 加納源次郎
編輯部 加納源次郎
發行部 加納源次郎

水道課 山下尚慶氏

紀念品問題で非難

藤川商店を紹介した 緑川町議等の策動

平水道部では去月申來る十九日負ふやう交渉したが一度正式に舉行する水道擴張工事竣工に注文をうけた釜屋商店では之賀式當日來賓に贈る紀念品藥罐に應じなかつたため緑川町議の三百九十個を四名の商店に入札策か否かの眞偽は保證の限りでせしめた處平町釜屋商店が一個はないが角山下課長は釜屋七十六號新潟市藤川商店が七十商店並に藤川商店に對し再入札六號外に運賃三號で結局釜屋商店を行はしめ結局釜屋商店に請負店の見積が最低であつたため同はしめたといふ問題が起つたの商店に注文を了した、處が後に町會議員並に一般町民は山下なつて藤川商店の紹介者である水道課長並に緑川町議の行爲を町會議員緑川喜三郎氏は見本に非難してゐる、右について某町送つて來た藥罐の中に更に安置議は語る

無盡商會長小宅氏が

一千圓を盗まよる

列車内で災難

平町大町十一號無盡商會長々長つた黒皮製靴に十圓、五圓、五小宅喜久治氏が十二日午後零時十時頃よりませ一千圓在中のもの掛分ころ東線矢吹發下り列車にを何者かに窃取されたので郡山乘つて須賀川に赴いたところ農驟に下車届出たので目下犯人嚴銀頭取白石氏が乗合したので二探中である。

起工式の 役員決定

四倉港修築工事起工式は二十日舉行されるが町會に於て當日の分擔を左の如く決定した

- 一、庶務係長植田万次郎、副係長長谷川林平、係員須藤久太郎、吉田壽三郎、菅波康太郎、豊田盛次、小港宗吉、青木榮三郎、新妻春次、若松磯次外區長
- 二、式場係長金成岩吉、副係長片寄富次、係員中野給與、長谷川西次郎、門馬倉次郎、佐藤熊藏、鈴木賢二、高木八藏、金成仙治外區長
- 三、接待係長吉田彌十郎、副係長宮澤正巳、係員長谷川寅次郎、大和田安太郎、面川龜之助、横田民彌、小港平次郎、菅波末吉、折内武枝、木田雅風外區長

石城圍碁界の大手合せ

第五回棋仙の集合

代表者を網羅して 十月中旬川井氏宅に開

平町南町川井重之氏主催の棋仙の集會は昭和三年秋豊岡村回春園長時代に第一回を開催して以來毎年秋には石城郡内に於ける圍碁の代表者を網羅して開催し今日では石城郡に於て名實共に立派な大手合せとして中央からも注目されるに至つた、本年は第五回の集會を來る十月十六日十七日の兩日川井氏宅に開催する事になつたので参加者は勿論一般からも大いに期待され人氣を呼んでゐる、勝負は東西兩軍に分ち五回戦を行ふ外餘興として五人抜を行ひ夫々賞を授與する、當日の参加者は左の如くである、

改築の植田警察署

工費二万三千余圓で 半額は地元負擔

石城郡植田警察署は明治二十二年の築造に於て敷地僅に百五十坪築費を一萬三千圓半額は地元負擔の建築にて敷地僅に百五十坪築費を一萬三千圓半額は地元負擔建物四十坪に過ぎず時代の進運擔となる模様であるが柴田署長に伴ひ漸次廳舎の狹隘を來し敷地は近く消防組頭會議を開き協議年來改築の必要を叫ばれ來つたする筈であるが地方民の多年要字小橋役場員若松金平次宅に忍の必要を痛感し來年度豫算に計日のこととて滿場一致協賛を興上するもの、如く去る十日近藤營繕技手は敷地その他實地視察のため植田町に出張した、而して改築の際には現廳舎も引き拂ひ他に適當の地に移轉することとなるべく近藤技手は第一候補地として舊小學校跡の營繕署西側を舉げ居るも右は將來役場新築敷地若しくは公會堂敷地として植田町唯一の町有地であり町當局としては現在の町役場を警察署に譲り現警察署廳舎に町役場を移轉するを最良の策となすも、如く又町將來の發展のため澁川東側に警察署を移轉すべし

豊作今や疑ひなし

早くも各所で豊年祝ひ

秋雨としてはあまりに早いこの頃の変態な天候は豊作豫想を裏切つて縣下水稻も或ひは急變して凶作と代るではないかと懸念されて來たが、神谷農事試験場と語つてゐるが更に小名濱測候所では同様懸念された稲作は厄日も無事にすみ豊作疑ひなしと觀てゐるし農村各地でも到る處槽太鼓の明かな音が湧き渡つてゐる。

金の賣買に狂奔する

二百余名の古物商

平署で不正行爲取締

金の奔騰から平署管内二百余名少ないので同署では發見次第嚴の古物商はこれが買入に狂奔し罰に處する方針である。

平の花柳界など二人の買人がない日はない状態である中には量目を胡魔化して不當の暴利を貪つてゐる不良買入人及びは現在六圓五十錢位で尙暴落の形勢にあるからこの際買急ぐ必要があるなど甘言を以て買取る者が二

氷値下げ

平製氷株式會社では十六日から氷販賣價左の如く値下げする

△家庭用 一貫八 十二錢
△病院、冷蔵庫、鮮魚用十錢

神罰贖面

盜賊捕はる

石城郡大浦村字鬼越小林末則(十八)假名は十二日午前一時頃同村上仁井田諏訪神社に忍入り

平町人事

出生
三丁目三 鈴木義角八男清治
舊城跡一 秋田縣秋田郡下川沿鐵田三九高清水勇助長女京

婚姻
埼玉縣比企郡福田村山田二二九六鈴木源造(一九)立町八五村上ハツ(二五)

死亡
播磨小路一宮城縣日理郡山下村山寺九一高橋みの(六三)

紅葉の名所
川前溪谷

磐城東線の小川郷と川前驛間に
おける夏井川の溪流に添ふ
紅葉は同線開通以來一層世に
知られて年毎に探勝の客を増
加してゐるが平驛では今秋の
観楓期を差はさみ約一ヶ月半
最も風光の誇る江田信託所に
假停車場を設けて旅客を誘ふ
計劃中であるが同地方はまだ
茸類の産地で江田から約半里
下る高崎附近の簇生期には茸
狩の団体も少くないため十月
一日から十一月十五日ごろま
で、いはば紅葉をみたり茸
を食べたり風光のうちに一日
の清遊を樂しむといふので
ある、昨年同様のこの客は
十日中旬ごろから毎日曜に四
五十人内外、十一月月上旬から
同月中旬ごろまで毎日曜毎
五、六十人で合計千五百六十人
を算しこれに自動車の団体か
約二十人合計三千五百、六百人
はあるので鐵道で大馬力をか
けて計劃を進めてゐる。

自轉車を

盗み損ねる

十一日午後九時頃平町二丁目
亭谷口樓の店先に置いた同店所
有の自轉車を労働者風体の男が
乗り逃んとしたのを附近の者が
發見取押へ平署に突き出したが
此奴は安積郡丸守生れ當時石城
郡内郷村大字小島字新町居住加
藤伊之松(一九)と云ふ者で餘罪
ある見込みで目下嚴重取調中

鼻の薬 チクノール
平五 山野邊藥局

釜屋商店

縣社飯野八幡神社祭典

奉納 立華生花陳列會

九月十四日 十五日 十六日
平町搔撞小路元若松自動車部跡

池坊龍生派華道教授

岡田華悅社 中
平塚旭水社 中

強力殺虫殺蛆液

(うじ殺し薬)

ペトリリン 一板五十錢
▽超強力にして發火の憂なく廉價使用簡易
▽便所、塵芥箱、床下、下水等に三十倍に
溶解して撒布

平町字四町目
特約店 小野藥店
電話百四十四番

外科 花柳病科 専門

平町六丁目橋際

木村外科醫院
電話三〇九番

難波醫院

一内科 醫學博士 難波 睦
平町大町新川端
電話(五〇二番)

優等賞入選

酒銘醇芳



キユノバクハ

去る十八日より二十日迄平稅務署に於て開催されたる
石城酒造組合主催第十三回清酒刺酒會に於て三點とも
最優等賞を得たり。

白馬の雪營業所

辰の口本家 松本 徳一
話電一五四六營業所
二八五本

耳鼻咽喉科 専門
氣管食道科 専門

病室完備...自炊の便あり

平町南町 大和田醫院
電話一七〇番

和洋銅鐵金物問屋

今度皆様ノ便宜の爲メ光線ヲ新設致シマシ
タ、御利用ヲ願ヒマス。
昭和七年九月

四倉町本町

木村醫院
電話三十五番

外科、内科
花柳病科
産婦人科
X光線科

(入院隨需、自炊ノ便アリ)

秘傳家腫物湯

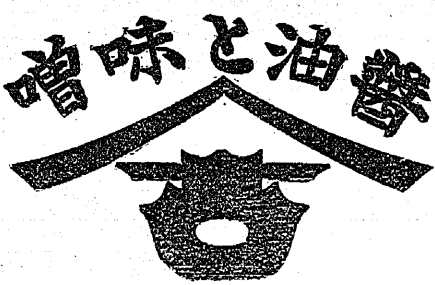
のんで効く
はれ物の妙薬

主一●面疔●よう●乳の腫れ●指のはれ●林巴腺の腫れ
効一●耳鼻のおでき●骨膜炎●筋炎●はれ物手術の前夜
効一●等よし

◎特にかほのおでき、乳のはれは切らずに治り醜き
痕を残さず美容上最適の治療劑なり

定價 五十錢 七十錢 一圓十錢 一圓五十錢
特約店 平町四丁目 小野藥店 四ツ倉町 荒川藥店
植田町 松本藥店 富岡町 莊野藥店
湯本町 岩瀬屋藥店

腫物湯 製劑所 茨城縣下孫 磯野 健生堂



山崎合名會社

福島縣平町
電話(營業部専用)一〇番
(一般用)二七番
振替東京一九七五五番

明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

シンガーガム
露披店開

家庭用シンガーガム月賦販賣
附屬品並に修繕、中古賣買
シンガー裁縫 生徒募集
平町田町シンガーガム會社
四倉本町十九番地
シンガーガム會社出張所

シンガー裁縫女學院

月賦 一圓五十錢

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番